

社会福祉法人 春献美会 第6号 平成31年

たんぽぽ新聞



たんぽぽの郷

▶ グループホーム

▶ 小規模多機能型居宅介護

〒206-0824 東京都稲城市若葉台1丁目13番5号

TEL 042-401-4733 FAX 042-401-4844

Mail gh_tanpoonosato@yahoo.co.jp

TEL 042-401-4833 FAX 042-401-4844

Mail syoutaki_tanpoonosato@yahoo.co.jp



時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。新年度となりますが、たんぽぽの郷が利用者様にとって楽しく、安心できる場所であるよう努めて参ります。時節柄、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

職員一同

ボランティア募集のご案内

たんぽぽの郷ではレクリエーションなどを行っていただけるボランティアの方々を募集しています。



- ・本や紙芝居などの朗読
- ・演芸などの披露
- ・歌や楽器演奏
- ・お話し相手(傾聴)
-など



少しの時間でも構いません
ご興味のある方は是非ご連絡ください。



グループホーム 小規模多機能型居宅介護

TEL 042-401-4833 FAX 042-401-4844

Mail syoutaki_tanpoponosato@yahoo.co.jp

担当:金子、南部



たんぽぽの郷 空き情報のお知らせ

➤ グループホームたんぽぽの郷

おかげさまで満床です。グループホーム入居希望の方は随時、相談・申込み受け付けております。

➤ 小規模多機能型居宅介護たんぽぽの郷

月	火	水	木	金	土	日
○	○	○	○	○	○	○

○:余裕あり
△:要相談
×:空き無し

* 稲城市全域をサービスの範囲内としております。

問い合わせ先 042-401-4833

担当 尾崎、金子

小規模多機能型居宅介護 たんぽぽの郷

小規模多機能型居宅介護とは…

通い、宿泊、訪問のサービスを顔なじみの同じスタッフが行い、

在宅生活をサポートするサービスです。介護保険にて利用可能(介護度によって月額定額)です。
※食事・宿泊は別途料金がかかります。

通いのサービスでは…



体操で身体を動かし、頭の体操をしたり、歌の会などをして過ごしています。

また、役割や目的を持ってすごして頂くよう一緒におやつを作ったり、食事の盛り付け、食器洗い、掃除、洗濯などの生活リハビリも行っています。

レクリエーション



お誕生日にはみんなで
ささやかにお祝いを…



お天気の良い日には
カメのリクと
日光浴をすることも



節分には皆さんで恵方巻きを作って食べたり、3月は上谷戸のひな祭り展に出かけました。皆様が楽しんで過ごせるように、季節を感じられるようなイベントや外出などを今後も企画していきます。



去年の末と一緒に植えた
チューリップが
芽を出してきました！



送迎

スタッフが送迎車で稲城市全域を範囲として送り迎え致します。



入浴

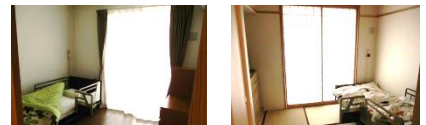
個浴でゆっくりとお入りいただけます。



訪問のサービスでは…

食事の用意や買い物、掃除を一緒に行ったり、入浴などをお手伝いします。

宿泊のサービスでは…



部屋の例

たんぽぽの郷には1日に9名宿泊できる部屋をご用意しております。ご家族の用事の際、一人で家にいることに不安がある際などにご利用いただいています。

一人で住んでいるけれども一人で生活するのが不安だな…という方、
自宅介護をしているけれどもつらくなってきたな…というご家族の方、ご相談ください。
見学、ご相談は常時受け付けております。

グループホーム 活動写真

新年会



今年初めての行事として元旦の日に新年会を開催しました。昼食のおせち料理の後、みんなでお正月の歌をうたったり、書初めをしたり、昼食のおせちを食べたり、笑いに満ちた新年会となりました。

節分



2月3日に節分会をしました、職員が扮した赤鬼に豆に見立てたボールを投げ厄払いをしました。

運営推進会議

2019年2月16日(土)10時～12時、たんぽぽの郷 地域交流室にて第9回運営推進会議を開催いたしました。

今回は、地域包括支援センターこうようだいによる認知症サポーター養成講座を行いました。地域で認知症の方が過ごしやすいようにテキストによる講義や出席者も参加する寸劇にて認知症に関する正しい知識と理解を深めました。



雛人形展外出



2019年3月1日(金)上谷戸親水公園(緑地体験学習館)で開催された「雛人形展」を見に行きました。たくさんの種類の雛人形が展示されており、「綺麗ね」、「子供たちを買ってあげたいわね」と仰ったり、目を細めニコニコとした表情で鑑賞されたり、一つずつご覧になったり、と楽しみ方はそれぞれでしたが、童心に帰り喜ばれていました。